

最後まで欲張りすぎ

国語教育・渥見秀夫

1. 授業の概要

(1) 目的

読書と図書館についての関心・識見を持ち、豊かな人間性を培い、よき読書人・よき図書館人となる。

(2) 内容

- 第 1 回 目的・方法（シラバス）の確認  
課題作文「読書と豊かな人間性」
- 第 2 回 課題作文の紹介・講評  
「人間生活と読書」
- 第 3 回 前回感想の紹介・講評  
「情報社会と読書」「家庭と読書」
- 第 4 回 前回感想の紹介・講評  
「学校と読書」  
愛光学園図書館見学の事前指導
- 第 5 回 A 班・愛光学園図書館見学
- 第 6 回 B 班・愛光学園図書館見学
- 第 7 回 愛光学園図書館見学事後指導（感想文の紹介・講評）  
「読書案内」作成について
- 第 8 回 「教科と読書」「総合学習と読書」
- 第 9 回 前回感想の紹介・講評  
「読書指導における司書教諭の役割」
- 第 10 回 前回感想の紹介・講評  
「図書委員会・学校行事と読書」
- 第 11 回 前回感想の紹介・講評  
講義のまとめ。「読書案内」提出
- 第 12 回 図書館活動・読書指導例の紹介
- 第 13 回 「読書案内」紹介・講評・返却
- 第 14 回 試験——課題作文「読書と豊かな人間性」
- 第 15 回 試験の講評・全体のまとめ

(3) 受講生 97名

2. 受講生の授業評価

(1) 授業評価アンケートから

1 関心・興味（実人数）

【昨年度】

5（65）4（41）3（2）

【今年度】

5（36）4（40）3（5）

2 わかりやすさ

【昨年度】

5（72）4（33）3（3）

【今年度】

5（30）4（51）3（0）

3 教員の意欲・熱意

【昨年度】

5（95）4（13）3（0）

【今年度】

5（65）4（15）3（1）

4 おすすめ度

【昨年度】

5（78）4（27）3（3）

【今年度】

5（49）4（28）3（4）

(2) 記述から

- ・履修登録の段階では単位を取るためだけの講義と思っていた。しかし、受講しているうちに「読書と豊かな人間性」という言葉がしっくりくるなど実感できた。読書についての様々な観点を知り、これからも読書を大切にしたいと思うようになった。
- ・「読書案内」作成は思った以上に大変だったが、レポートや試験より、読書について深く考えることができた。
- ・学生の感想がプリントとして配られるかたちの授業はいくつかありますが、この授業ほど理想的な使われ方がされている授業はありません。（略）私もこんな授業がしたいです！
- ・大人数でも、渥見先生の授業スタイルは変わることがなくて、好きでした。ただ、プリントが多くて、欲張りな先生についていけない学生も、もしかしたらいるかもなーと思ったり…。笑

3. 自己評価

4年目にして最後の授業。昨年度の高評価に気をよくして（しすぎて?）、ずいぶん欲張った内容にしてしまっていたようだ。最後になっても、まだ反省。